

〇〇寺様報恩講・「釈迦弥陀は慈悲の父母」 〇月〇日〇座
尸毘王布施の段

釈迦牟尼仏の本と為る過去世の修行。インドではジャータカと呼ぶ物語。生死輪廻のその中で、無量の功德積み重ね、その甲斐あって世に出でて 釈迦牟尼仏と示してぞ、無上の悟り開きます。ジャータカは釈迦牟尼仏の前世に限りボーディサッタと呼びました。数ある話のその中で、シビ王布施の物語、語ることは致しましょう。

・ ・ ・ 中略 ・ ・ ・

さて毘首羯磨、赤いルビーの円らな目、可憐なハトに身を変えた、帝釈天は鋭い爪とくちばしの鷹の姿に変じては、餌食にせんと鷹は追い、捕まるまいと鳩は逃げ、シビ王のいるその前に現れ出でた。

・ ・ ・ 中略 ・ ・ ・

脛の肉から腿の肉、腕の肉から肩の肉、胸の肉まで失って、それでも秤は釣り合わぬ。終にシビ王悶絶し、どつとばかりに地に臥せる。ややあつて意識戻ったシビ王は、自ら責めて思うには、

汝の為に 久遠より

心を碎き 三界を

経巡りつつも 努むれど 未だに曾て 利益せず

今こそまさに 精進し 怠る時に あらざるぞ

さまざまに思いめぐらし、身を引きずって、ようよの思いで秤の皿によじ登る。ついに秤は釣り合つて、王の心に歓喜あり。将にこの時、天地震動揺れ動き。天人たちは皆来たり シビ王の揺るぎなき慈悲讃えつつ、涙を流し散華せり。

如来の作願を尋ぬれば、苦悩の有情を捨てずして
回向を首としたまいて、大悲心をば成就せり



尸毘王本生図 (Relief of King Sibi's Test) AD.2 ガンダーラ